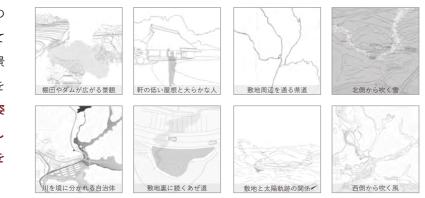


世羅町には雪から民家を守る、軒の 低い屋根など様々な景観が存在して います.今回私達は今ある世羅の景 観に加え、計画敷地の様々な特性を 拾い上げ、その特性を知覚できる姿 にすることで敷地らしさ、世羅らし さを纏う、世羅の景観になる建築を

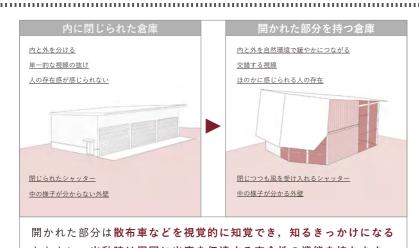
目指します.



現状の課題と新たなスノーステーションの在り方

2. 開くことと閉じることを兼ねる

基本的なスノーステーションは中の 様子が見えず、閉じた形式のため 人々の認知度が低いのが現状です. スノーステーションが冬の生活を守 る存在であることを認知・知覚して もらうために開かれた形式も持つべ きではないでしょうか.私達は**倉庫** として閉じられた側面と人々がス ノーステーションを知覚するための



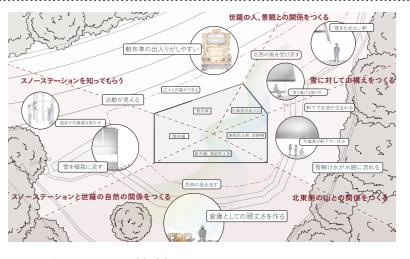
とともに、出動時は周囲に出庫を伝達する安全性の機能を持ちます。

ションを提案します.

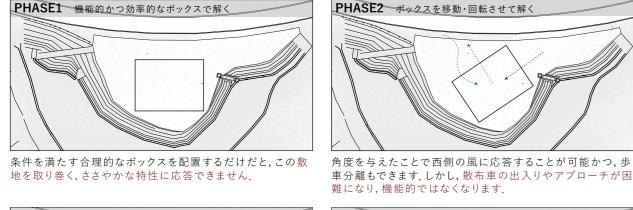
開かれた側面を持つスノーステー

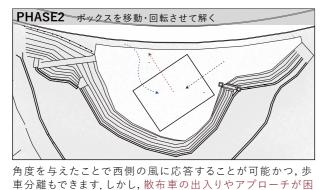
3. 「辺」を一つ加えることで応える

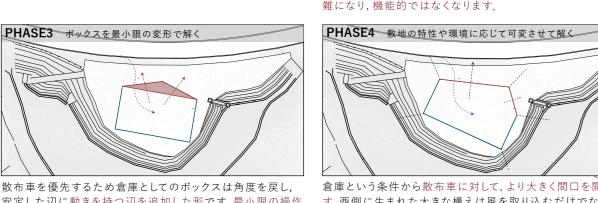
敷地は西からの風や北西からの雪 などの自然環境と効率良く散布車 を送り出すレイアウトなどの設計 条件といった様々な特性と制約が あります.四角形では一つ一つの 特性が一つの辺の中で孤立した状態 でしたが,**北西側の辺を追加**したこ とで辺同士の関係が生まれ,**単一的** だった特性が多義的な特性を帯び始



----「辺」を一つ加えることで編まれる特性。







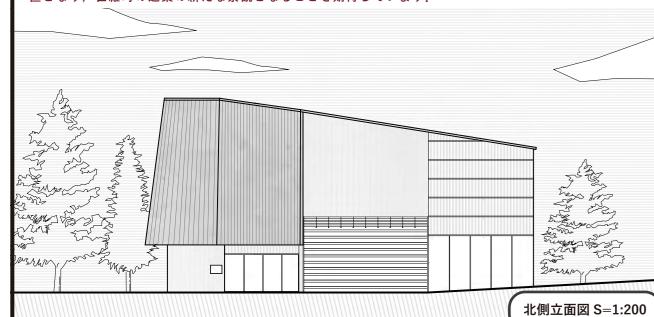
散布車を優先するため倉庫としてのボックスは角度を戻し, 倉庫という条件から散布車に対して,より大きく間口を開きま 安定した辺に動きを持つ辺を追加した形です. 最小限の操作 す. 西側に生まれた大きな構えは風を取り込むだけでなく, で閉じたものを開き、人と散布車の動きを分離しつつ、西側 散布車の動きを外部に知覚させ、スノーステーションとしての

構えを持った建築になります.

の風や作業員駐車場にも構えることができます.

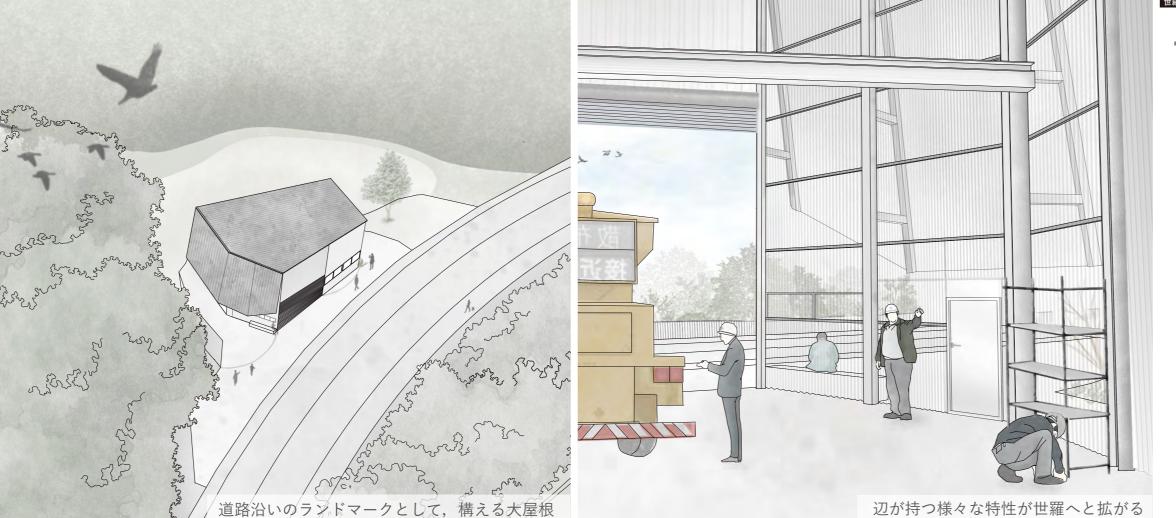
4. 世羅の新たな景観となる、軒の低い屋根

世羅町には軒の低い民家が散見されます.軒が低いことは雪を効率良く地面に落とし,雨・雪から外壁面を 守るといった、積雪地域における人々の知恵です。この伝統をスノーステーションという建築を媒介に世羅 の景観として知覚できないかと考えました。この建築が備える屋根は**北西からの雪を守るという敷地の気候** 条件に抗し得ることはもちろんのこと、軒の低さがここを通り過ぎる人を迎え入れる、姿勢の低さを表しま す.またこの建築の屋根は世羅町の軒の低い屋根が世羅と雪の関係の中から形成されたことを知覚させる装 置となり、世羅町の建築の新たな景観となることを期待しています。



機能的かつ,豊かな平面計画 辺を追加したことで生まれる繋がり ポケット③:作業ポケット 散布車導線 作業員導線 ■道路に沿う配置計画 南西の角に生まれるポケット空間、建具を開放することで荷物の積み -道路に対して辺を水平にすることで建物の角が道路に向かず, 下ろしができることに加え、車両を乗り入れることも可能なため様々 散布車を出庫させる際の視界を確保させることができます. な作業に柔軟に対応することができるスペースになります. シャッター前面道路距離 最小距離:2,950mm 最大距離:3,050mm ■季節を告げる, 植栽計画 南側の軒下に季節ごとの植栽を計画します.冬季の植栽は 軒下落雪の危険があることを示してくれる役割を持ちます 夢■凍結防止剤の使用順序が一目で分かる配置計画 が一目で理解できることに加え、散布車に積み込みやすい位置に配置します ポケット①: 収納ポケット 北の角に生まれるポケット空間。鈍角を有効活用する棚を計画し,建 具と一体的に使用することによって内部と外部の物の受け渡しを可能 にするスペースとなります。 ポケット②: 確認ポケット 北西の角に生まれるポケット空間、北西の辺を追加したことで鈍角の ポケットは全体を見渡すことができ、出庫・帰庫前後の安全確認を行 ■凍結防止剤に考慮した換気計画 浸凍結防止剤は湿気に弱いため,東側壁面に GL から H=800mm,₩ 。 の換気口を2ヶ所設置することで,凍結防止剤の腐食を防ぎます。 床・舗装仕上げ - 機能性への配慮 ■散布剤袋廃棄のための計画 内部の仕上げを土間コンクリート刷毛引き仕上げとすることで耐久性を確保し、雨や雪に 産業廃棄物処理は必要な散布剤袋をまとめておくための倉庫. 面積表 | 敷地面積 | 建築面積 | 延床面積 | テーション内を常に清潔・整頓されている状態を保ちます. よる車両の滑走を防止します.外部のアスファルト舗装は軌跡をなぞるように舗装するこ 484.3 m² 216.4 m² 184.2 平面図 S=1:150 とで歩車分離を視覚化し、舗装間の目地によって流水性を高め、道路凍結を予防します。





世羅の人達に愛されるスノーステーション 5. 共に冬を乗り越えていく このスノーステーションが世羅の道を切り拓き、景観をつ くる建築になるためには世羅町の人々の協力が不可欠です. スノーステーションが世羅の厳しい冬を人々と乗り越えて **いくため**に、冬以外の季節においてスノーステーションの 清掃活動や凍結ハザードマップ作成等を通じて、共に世羅 の道を切り拓いていきたいと考えています. そのような活 動を通じて人々にとって愛されるスノーステーションを私 たちは世羅の人々と共につくっていきたいと考えています.

世羅の憲章を尊重し、行う設計計画

-, 自然に感謝し、自然を大切にする環境をつくりましょう<u>.</u>

世羅の自然を尊重し、敷地の環境を丁寧に拾い上げる設計を行います。 世羅の豊かな自然と向き合い、スノーステーションを媒介に自然を知覚できる設計を行います。 ー,伝統文化を尊重し,新しい文化をつくりましょう. ・スノーステーションを通して、新たに雪と人との関係性を築きます。 世羅の人の雪に対する知恵を借りながら、共に世羅の道を守るスノーステーションにします。

コンビネーションシャッターから常に新鮮な空気を取り入れることで倉庫内 散布車を送り出すにあたり、スノーステーション周辺の安全確認は必須とな の空気環境を良好に保ちます.また太陽高度が低い冬季ではポリカーボネー ります。道路側の外壁をポリカーボネート波板とすることで視認性を高め、 散布車がスノーステーションから円滑に出発しやすいように計画します. ト越しに自然光が入ってくることで倉庫内の温熱環境を整えます. ガルバリウム鋼板縦葺 t=0.8 H-500×300×11×15 ガルバリウム鋼板波板 t=0.5 ▽レール高+5,500 ポリカーボネート波板 t=0.7 作業ポケット スチールガラリ 土間コンクリート刷毛引き仕上げ 断面図 S=1:75 基準 FL+386m コスト・環境・維持管理面に配慮した建築計画 コストを抑え、魅力的な建築を実現するための計画 鉄骨造 / ラーメン構造 軒下計画 - 日常に寄り添う空間 屋根と外壁を一体化することでコストを削減します.また軒裏天井にポリカーボネート波 板を設置し、内部の光が間接照明として軒下空間を照らすことで夜間時の道路沿いの街灯 にもなりつつ、人々を優しく迎え入れる空間とします. ガルバリウム鋼板縦葺 t=0.8 ◆ ▽最高高さ+10,200 構造は LSP-PH 工法をヒントに柱と梁 の接合部に筋交いで補強を行い, 柱径を ガルバリウム鋼板縦葺 t=0.8 落とし材料費を削減しつつ、ブレースを H-500×300×11×15 部分的に組むことで、荷重に対しても充 分の強度を実現します. 屋根・壁の素材/ガルバリウム鋼板 H−500×300×11×15 屋根梁: 溝形鋼管-150×65×25 I-√150×125×8.5 屋根・外壁はガルバリウム鋼板を使用し ます. 耐水性や耐食性に加え, 雪に対し ▽レール高+5,500 ても強く, スレートと比較し, 長期的に 見て,補修やメンテナンスにかかるラン ニングコストを削減します. 壁の素材/ポリカーボネート波板 天井クレーン: NHEE2.0MRV-22 ポリカーボネート波板 外壁面の一部はポリカーボネート波板と 角型鋼管□50×50×1.6 ▽軒高+2,500 ., イニシャルコストを抑えることに加 1,200 え、適度に自然光を取り入れることで屋 内照明の使用を抑制し、建物の消費エネ ルギー量を削減します. 鋼材ブレース: 一 床の素材/刷毛引き仕上げ ケーブルブレースΦ16 ガルバリウム鋼板波板 t=0.5 スチールガラリ― 土間コンクリート刷毛引き仕上げ √1FL+100 土間コンクリート t=180 建物内部は土間コンクリート刷毛引き仕 上げとすることで、重車両を扱う倉庫に 捨てコンクリート t=20 おいて耐久性を確保しながら,雨や雪解 割栗石 t=360 断面詳細図 S=1:40 け水の水はけが良くなるように計画しま

省エネルギー化への貢献 - 脱炭素化への配慮 -

環境と人を取り込む、断面計画

環境と人を引き込むポケットの空間

視認しやすい立面計画 -機能性への配慮 -